

平成23年度
実施事業

事務事業名 商店街活性化事業補助金

区分	No	名称
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる
施策	3	活力ある地場産業の育成
小分類	3	世代を超えた交流ができる商業空間の形成
主要な施策	1	地域コミュニティの中心としての役割強化
事務事業番号	003	事業開始年度 平成 23 年度 事業終了年度 平成 - 年度 会計種別 一般会計

部 名	観光経済部	グループ名	商工労政グループ
-----	-------	-------	----------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	指定区域内において空き店舗を活用して事業を行う者に対して支援することにより新規出店を促し、商店街の活性化と地域の賑わいの形成を図る。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成23年度の実績を具体的に記入してください)
	<p>【事業内容】</p> <p>指定区域内にある空き店舗を活用して新たに事業を行う者に対して補助金を交付する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助対象経費：補助対象事業を行う部分の空き店舗の賃借料 ・補助率：補助対象経費の2分の1、上限5万円 ・補助期間：12ヶ月間 <p>【事業実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度：1件 ・平成24年度：2件（新規1件、平成23年度からの継続1件：平成24年7月1日現在）
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	補助の対象となる区域を指定することで商業の集積を進め、商店街活性化と地域振興への効果を高めていくために、当補助金制度の周知に努め、指定区域内への新規出店を促していく。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	登別市空き店舗活用事業補助金交付要綱

事業費（財源内訳）の推移

《Plan・Do》

区分		単位	H22年度 決算	H23年度 決算	H24年度 当初予算	H25年度 見込	H26年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	0	272	3,140	1,800	1,800
事業費 合計			0	272	3,140	1,800	1,800

指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	22年度 実績	23年度 実績	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	補助金交付件数	件	目標値	0	3	3	3	3
			実績値	0	1			
			目標値					
			実績値					

現況		《Check》
現状の状態、問題点、課題等《事業前》	具体的な対策、解決の方向性《事業後》	
地域住民の安全、安心なコミュニティの場としての役割を担っている地域商店街は、空き店舗の増加により、その機能と魅力が低下してきており、高齢者等の「買い物弱者」の日常生活にも多大な影響を及ぼしている。	商業の集積と商店街活性化、地域振興を進めていくために補助の対象となる区域を指定し、その指定区域内の空き店舗を活用して新たに事業をおこなう者を支援することで新規出店を促し、安全、安心なコミュニティの場としての地域商店街の機能維持と魅力向上を図っていく。	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

1. 事務事業の妥当性について		
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見 空き店舗を利用して新たに事業を行う者への補助金交付は、民間での実施が難しく、市が主体となって実施すべき事業だと考える。
	民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である	
	国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
	国、道、民間等の事業と重複・類似している	
2. 事務事業の必要性について		
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見 空き店舗増加により地域商店街のコミュニティの場としての機能低下が深刻化しており、その対策としての当補助金の必要性は高い。
	市民アンケートの結果から必要性が高い	
	社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
	市民の大部分が関連することから必要性が高い	
3. 事務事業の効率性について		
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見 当補助金事業を実施することで、指定地域内にある空き店舗への新規出店を促し、地域商店街の機能の維持、向上が図られることから、効率性の高い事業だと考える。
	市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
	多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
	将来的に効率性を向上できる	
4. 事務事業の成果について		
目的を達成するための成果はあがっていますか？	成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見 当補助金に関する問い合わせが徐々に増えてきており、成果は上がってきていると考えている。
	市民、団体等の声から成果を感じられる	
	目に見える形で成果があがっている	
	成果の把握は困難である	

担当グループによる評価 《Check》

維持	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	当補助金に対する問い合わせが増えてきており、指定地区内の空き店舗への出店を考える際のインセンティブとして一定の効果を上げているものと考えられることから、今後も当補助金事業を継続していく。
----	----------------------	---

行政評価会議による評価 《Check》

改善	備考	空き店舗補助に加え、商店街の魅力向上を図る新たな取組を検討すること。
----	----	------------------------------------